



「日向の大人はみな子供たちの先生」

財光寺南小学校 校長 小野原 康人



4月に新任校長として赴任した際に、いろいろな研修会の中で、「日向の大人はみな子供たちの先生」という言葉を聞き、とても印象に残っています。今回、キャリア教育通信の原稿依頼を受け、これまでの通信を読み返したり、あらためてキャリア教育について考えたりしました。

キャリア教育の目的は、「生きる力を身に付けさせること」「何のために学ぶかを考えさせ、将来の職業を明確にさせること」「発達段階に応じて、目標達成のためにはどんな力が必要なのかを理解させ、目標に向かって学ぶ態度を育むこと」です。キーワードは、「生きる力」「何のために」「学ぶ態度」ではないでしょうか。学校では、家庭とも連携しながらその子の将来を見据え、未来をたくましく生きる子供たちを育てていきたいと思えます。「よのなか教室」「14歳のよのなか挑戦」「夢サポート事業」など、体験的な学習に取り組める素晴らしい環境の中で育つ日向市の子供たちをこれからも応援していきます。

「人とおして学ぶ」

坪谷小学校 校長 濱砂 達洋



自分が自分として生きるために「学び続けたい」「働き続けたい」と強く願い、それを実現させていく姿、このキャリア教育が目指す姿を身に付けたら、生き生きとしてとても充実した人生になるだろうと強く感じます。その姿を目指してこれまでの教育活動に取り組んできましたが、正直、どう取り組んだらよいか迷うこともありました。そんなとき、先輩の先生から「人とおして学ぶ」というアドバイスをいただき、とても参考になったことを覚えています。

私の勤める坪谷小学校は国民的歌手「若山牧水」の母校であり、本校の教育活動には「若山牧水顕彰活動」がたくさん取り入れられています。まさに「人とおして学ぶ」機会がたくさんあります。「若山牧水」をはじめ、地域、まわりの人とおして学ぶという視点をしっかりと持ってこれからの教育活動を進めていきたいと考えています。そのためにも、まずはわたし自身が「若山牧水」についてしっかりと学んでいかなければと思う日々です。

「学生時代の経験や出会いが将来の仕事を考えるきっかけに」

日向市立日向中学校 校長 岡田 能直



数年前のことです。訪問先で20年ほど前に担任をしたA君と偶然再会しました。A君は誰に対しても優しく、朗らかで人当たりがよい中学生で、「コンピュータやIT関連の仕事に就きたい」と言っていました。コンピュータが得意だった彼には適性があると思っていました。A君は現在「在宅療養支援診療所」を営んでいます。高校で様々な人と出会い、学ぶ中で医師を、そして地域医療を志すようになったそうです。

「人は人との出会いで成長していく」と思います。多感な学生時代に、身近にいる多くの「大人」から生き方を学んだり、ふるさとの良さに気づかせてもらったりすることが子どもの成長につながります。「キャリア教育」の目標は、子どもたちに、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を身につけさせることです。学校も頑張ります。地域の皆様もご協力をお願いします。

「日向の大人の一人として」

財光寺中学校 校長 藤井 寛史



少し前のことだが、東京の某大手広告代理店に勤めている教え子と話す機会がありました。苦労は色々あったが、今の充実した仕事ぶりを楽しく話してくれる中で、「今の仕事に就くことを中学校時代に考えたこともなければ、そもそもこんな仕事があることすら知らなかった、もっと色々知りたかった」という話になりました。「キャリア教育」という言葉すらなかった時代、私は生徒たちに、進路指導はしてきたが、将来の「生き方」や「働く意義」など、社会的・職業的自立のための能力や態度を育てる指導がどれだけできていたのだろう、と反省したところです。

日向市では、10年前「日向市キャリア教育支援センター」が設立されるとともに、学びの柱としてキャリア教育を位置付け、「よのなか教室」や「14歳のよのなか挑戦」の取組を同センターの協力を得ながら市全体で推進しています。

私も「日向の大人」の1人として、日向市の子どもたち全てが、幸せな未来を歩めるようキャリア教育の充実に取り組んでいきたいと考えています。

令和5年度「14歳のよのなか挑戦」協力事業所の会 第1回会合開催

令和5年5月19日（金）、日向中学校、東郷学園、大王谷学園が実施する「社会体験学習」で、今年度も生徒を受け入れていただく「協力事業所の会」第1回会合を開催しました。

冒頭に、今年度の社会体験学習の取組について日向市キャリア教育支援センターからの説明、引き続き教育委員会から「課題解決型社会体験学習で伸ばしたい資質・能力について」と題して、この事業で「育てたい力と姿」の内容説明が行われました。



▲写真左より日向中学校、東郷学園中学部、大王谷学園中等部 説明の様子



その後、各学校から取組方針等についての説明を受け、全体的な質疑応答が行われ終了しました。

質疑応答の様子▶

以下、今回51号と次回52号で「日向市のキャリア教育推進グランドデザイン」を特集します。



日向市のキャリア教育の推進について

■ 日向市の目指すキャリア教育

- ◎学校、地域、企業、行政が一体となったキャリア教育を推進し、子どもの職業観や郷土愛の醸成に努める。（第2次日向市総合計画）
- ◎「日向の大人はみな子どもたちの先生」を合言葉に、働く意味を考えさせながら、学ぶ意欲の向上を目指す。（日向市教育大綱「日向市の教育」～ひゅうが学びの学校～）

育てる過程と取組

これからは、正解が一つではない課題を探求し、「納得解」「最適解」を見つける経験を重ねることで、生きる力を身に付けることが期待できる。

保育園・幼稚園 …… 小学校 …… 中学校 …… 高等学校等



よのなか先生
(職業講話)

夢サポート事業

よのなか挑戦(職場体験)
14歳のよのなか挑戦

あいさつの習慣化

- ★ 課題解決的、主体的・対話的で深い学びの実践
- ★ 日常的なキャリアカウンセリング
- ★ 子どもの創意の発揮や協働の機会、体育的・文化的行事



「ふるさとの時間」の学習(総合的な学習の時間)

日向を知る 日向を学ぶ 日向を伝える 日向の未来を考える

「探究」を経験させるのは、学校や教師にとって容易なことではない。そこで**実社会に存在するリアルな課題を解決する探究活動を地域や企業と協働でつくる**ことが必要。日向で活躍する大人、日々、地域の課題に向き合っている大人との出会いやつながりを通じて課題を発見し、解決するための実体験を通して、仕事の面白さや醍醐味を味わう。

■ ゴール【日向市の未来を担う人材】

- 日向市で成長し活躍する人
- 日向市に帰り活躍する人
- 日向市を外から支え応援する人

課題解決型・探究型の「学び」について充実を図る!

日向市教育委員会 学校教育課 教育指導係

日向市キャリア教育支援センターHP WEBサイト

URL: <http://hyuga-career.jp/>
※ブログ等の閲覧はこちらからお入りください。

